

二〇二三年四月一八日(参加者八名)

百千鳥震災の碑の安らけく	うつぎ
花の下占めて選挙の掲示板	うつぎ
夙川の松くぐり抜け蝶睦む	うつぎ
草笛や火垂るの墓の兄妹に	うつぎ
池統べて中島の鷺身じろがず	うつぎ
臥龍松花の夙川またぐやに	せいじ
緑さす火垂るの墓の碑に	せいじ
野に遊ぶ古いもぴーぴー豆鳴らし	せいじ
蔦若葉柄の大樹をよじのぼる	せいじ
夏草を絡ませ回る水車かな	もとこ
日時計に十二支並ぶ苑長閑	もとこ
道草も大事ですよと犬ふぐり	もとこ
青鷺の冠揺らし身じろがず	よう子
ニテコ池巡る親子の陽炎ひぬ	よう子
漣の綺羅に浮沈すかひつぶり	こすもす
花人の柏手ひびく一末社	こすもす
草笛を上手に鳴らす吟行子	ぼんこ
新緑の樹下に末社の由緒書	ぼんこ

定例会会みのる選

二〇二三年四月一八日(参加者八名)